


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

 ●会長 白石 繁
 ●幹事 村瀬 直久

 No.1652 平成 31 年 03 月 13 日 第 33 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org


インスピレーションになろう

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■熊本東南RCの歌「Joyful And Good」

(ソングリーダー 彌富照皇)

「ジョイフル アンド グッド (Joyful and Good)」

作詞 長期戦略委員会

作曲 LAMMY MUSIC

■公益財団法人ロータリー米山奨学生カウンセラー

へ感謝状の贈呈

 山田公也 カウンセラー
 宮川義行 カウンセラー
 前田日出夫 カウンセラー


■会長の時間

(会長 白石 繁)

【バカに見える人の習慣】

先日、面白い本に出会いました。ベストセラー作家の樋口裕一の「バカに見える人の習慣」です。

バカに見える習慣の事例が 60 項目ほど列

挙してあるのですが、多くの事例で私が無意識に取っている言動がそれに当らずとも遠からずであることに気付かされてしまいました。その一節をご紹介します。タイトルは「**相づちを打たないバカ**」。

この頃、相づちを打たない人が増えているというのです。人が話しているときに、黙って聞いている。数人で話しているときに相づちを打たないのは、やむを得ない。むしろ相づちを打つことが技とらしくもあり不自然である。

だが、二人きりで話しているときに相づちを打たないのは、話し手にとって気分のいいものではない。

相づちは、「聞いていますよ、もっと話して下さいね」というサ

インである。人の話のページをめくる作用がある。だから、相づちを打たないと、話し手は安心して話せない。相づちを打たない人は、感じが悪くて、つき合いづらいとみなされる。場合によっては人の話を聞かない人間ということになる。話している方は、「もしかして、この人は私のことを嫌っているのだろうか」と疑ってしまう。

難しい話をしている場合には、相づちを打たないと、内容を理解していないとみなされてしまう。相づちを打つというたったそれだけのことで、礼儀を守り、感じよく振舞うことができ、相手が話しをしやすいようにできる。「へえ」「ほんと?」「なるほどねえ」「うんうん」。こういった相づちをいくつか身に付けておいて、それだけでコミュニケーションがスムーズになる。

しかも合づちの打ち方によって、実はうまく相手の話しをコントロールすることもできる。早い相づちを打つことで話す人間にスピードアップするようにせかせることができる。逆に、ゆっくりと深く相づちを打つことで、たっぷりと時間をかけて話してほしいことを示し、深い共感をわかってもらえることができる。

ただし、相づちを打ちべきだとはいえ、相づちを打ちすぎると、ときにはおべっか使いとみなされる。相づちを意識して打っているならいいが、多くの場合、自分で打っているのか打っていないかに気づいていない。

だから、自分がどう見られているのか意識していない。意識することなく、過度に相づちをすれば、誰にでも媚を売る人間と見なされてしまう。上手に相づちを打ってこそ、賢い人間といえるだろう。……

翻って私自身、子供たちも独立し、また家内と二人っきりの生活となったこの頃ですが、どこか昔のようにはじっくりしないようになった気がしています。もしかすると「私の相づちの打ち方に問題があるのかも知れません?」「**相づちを打たないバカ**」になっているのかもしれない。そう思う今日この頃です。

■幹事報告

(幹事 村瀬直久)

 1)
 第 8 回定例理事会報告。


■今後の予定

3月	3月23日(土)	熊本北 RC 創立 40 周年記念式典	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
		福井学、松本繁、村瀬直久、宮川義行、白石繁、内田信行		
	3月30日(土)	米山奨学生世話クラブ 説明会	大分県 大分市	ホルトホール大分
3月	3月31日(日)	内田信行、山田公也、宮川義行		
		地区研修・協議会	大分県 大分市	ホルトホール大分
		山田公也、宮川義行、内田信行、中島祐爾、永野昭一、吉田嘉昭、福井学、松本一也、白木誠一、堤勝也、杉本整哉、前田日出夫		
5月	5月12日(日)	会長ノミニ 研修セミナー	大分県 大分市	ホルトホール大分
		松本一也		
6月	6月8日(土)	熊本平成RC創立30 周年記念例会	熊本県 熊本市	ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ
		これから案内		

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 佐野茂)

ロータリー以前の大ロータリアン

いつもは、規定的な話ばかりなので、今日は若干趣の違った話をしたいと思います。

ロータリークラブが誕生する以前の大ロータリアンといわれている二宮尊徳について話をいたします。

二宮尊徳という人は、江戸時代末期の篤農家ですが、生まれは相模の国、現在の小田原市です。この人は幼い頃に水害によって一家が離散しましたが、彼は仕事するかたわら勉学に一生懸命励んで一家を再興した人です。

二宮尊徳は、少年時代には金次郎と言っておりましたが、戦前の小学校では大概の小学校に、この金次郎少年が背中に薪を背負って歩きながら書物を読んでいる銅像がありました。私は台湾の台北の小学校に通っていましたが、やはり校庭の一隅に銅像がありました。つまりどんな境遇にあっても勉学に励みなさいという教えであったように思います。いわば勉学の象徴として銅像が造られたものでしょう。

二宮尊徳は、当時の小田原藩を始め多くの藩の農村振興に尽力した人でして、特に土木工事に優れた才能を持っており、豊富な農業の知識と円満な人柄によって多くの門弟を育てたということです。実は、私も恥ずかしい話ですが、二宮尊徳についてはこの程度のことしか知りませんでした。

ところが、最近になっていろいろの本を読んでおりますと、この二



宮尊徳の人生の教えというのが、ロータリーの信条と同じであることを知りまして、遅まきながらいろいろ調べてみました。今日はその一つ、二つを紹介しておきたいと思います。

尊徳先生が、ある時、門弟と一緒にとある温泉につかっていた時のことです。

その時、尊徳先生はその門弟に向かって次のようなことを教えておられます。

「世の中には、物持ちでありながら、もう自分では十分であることを知らずに、あくまでも自分の利益をむさぼって、不足、不満を唱えている者がいるが、これはちょうど大人がお湯の中に立って屈まないのと同じである。あたかも『この湯舟は浅い。膝までもつかからないではないか』とつぶやいているのと全く同じである。もし、お湯を望み通りに深くしたならばどうなるか。今度は、子供たちが入浴出来ないであろう。湯舟が浅いのではなくて、自分が屈まないのが間違いである。

つまり、世間で、富のあるもの、金持ちであるものが、不足、不満を唱えるのはこれと全く同じである。それぞれの分別を守らなければ、仮に千万石あっても、不足を感じることであろう。」と諭されておられます。

そして、また、「これを見なさい、このお湯の水を自分のほうに掻けば、お湯は自分の方に来ようだが、すぐ向こうに戻ってしまう。反対に、向こうに手で押しやれば、かえって自分の方に流れ帰ってくる。少し押せば、少し帰ってくるし、強く押せば強く帰ってくる。これが、すなわち天理というものである。

仁といい、義ということは、平たく言えば、このお湯を向こうに押すときの姿で、自分の方に掻くときは、不仁、不義ということである。

そして、更に言うならば、人間の手の形は、鳥や獣の形と違っている。鳥や獣の手は、ただ手前に掻くことは出来ても、向こうに押すことが出来ない。

人間の手は、掻くことも押すことも出来る。であるから、人間の道というのは、鳥や獣の道と違わなければならない。何でもかんでもいいものを手前に掻きとろうとすれば、人間は畜生のようにになってしまうものである。」と教えておられます。

実はこの尊徳先生の教えた話を、大阪ロータリークラブの土屋元作という人が、この方は、日本のロータリークラブの創始者米山梅吉翁と大変親密な関係にあった人ですが、この人が、アメリカ、テネシー州のナッシュビルロータリークラブで講演したそうです。

その時、ナッシュビルのクラブ会員全員が席を立て一斉に拍手し、「日本には二宮尊徳というロータリー以前の大ロータリアンがいる」と大変感銘したということです。

ということは、日本にはロータリーの信条と同じ教訓が、早くから存在したということです。

註) 天理一天然自然の道理。人為でない天の正しい道理。

仁一相手の身になって考える思いやり。

特に、孔子が提唱した道徳観念。礼に基づく自己抑制と他者への思いやり。義一人間の行うべきすじみち。

利害を捨てて条理 に従い人道、公共の為に尽くすこと。

■委員会報告

(青少年奉仕担当委員 宮川義行)



・熊本東南RAC 3月第2例会の会場変更について
3月30日(土) 12:00~14:00
八景水谷公園 ※熊本城二の丸公園から変更になりました。
ご参加の方は、各自昼食1品、又はお菓子などの持参協力をお願いします。



■出席報告

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
02月27日	45 (免4) 41	29	7	36	87.80
03月13日	44 (免3) 41	28			68.29

☆退会

☆出席免除 内田敏視

02月27日 島村徹男 住江正治 鷲山法雲 古庄浩二

03月13日 島村徹男 住江正治 鷲山法雲

☆欠席者 5名

02月27日 西村陽介 内田敏視 渡邊一弘

山坂哲生 山本浩之

今度の100%出席の日は 3月27日です。

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 井村宣敏)



◎宮川義行 5,000円

9日に米山修了氏がホテルキャッスルで開催されました。翁君もいよいよ卒業、熊本を離れ一人で研究の道に進みます。2年間あつという間の付き合いでした。翁君の輝かしい未来を祈っています。熊本RC80周年は素晴らしかったですね。村井宮城県知事と蒲島知事の震災を巡る話し合いは当事者しか知り得ない貴重な体験を聞かせて頂きました。まだ震災は終わっていないですね。熊本も東北も元気が一番です。これからも皆さんと頑張っていこうと思います。

◎松岡歩紗実 2,000円

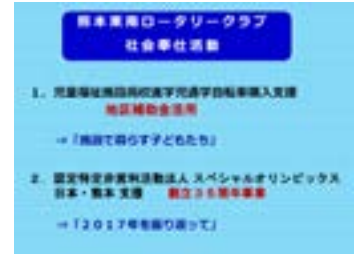
明日はホワイトデーということで、お返し用のクッキーのご注文をたくさん頂きました。小野川さんから奥様へメッセージ入りのクッキーのご注文を頂きましたので心を込めて作らせて頂きました。

◎井村宣敏 1,000円

今日は所用のため早退しますので、お詫びのスマイルです。

■社会奉仕委員会卓話

(社会奉仕担当委員 吉田嘉昭)



■点鐘

編集者 松岡泰光

3月22日は「世界水の日」です

ロータリーボイスより 投稿日: 3月22, 2014

3月22日の「[世界水の日](#)」を控え、水にちなんだロータリーの関連情報をご案内させていただきます。世界各地のロータリークラブが水と衛生についての活動に取り組む中、今年は、人びとに安全な飲料水、適切な衛生環境、十分な食糧、エネルギーサービスを提供するために活動しようと国連が呼びかけています。

「[ロータリーショーケース](#)」では、水不足、水確保を妨げる諸問題、衛生問題に取り組むクラブのプロジェクトをご覧いただけます。

Condega 英国の2つのロータリークラブは、マダガスカルクラブと協力し、ロータリー補助金を申請して、[アナランガ地域の村にきれいな水を提供するプロジェクトを行っています](#)。地元の人とも協力し、浄水施設を設置・維持するための研修も実施しました。

[ニカラグアで水を介して伝染する病気を減らすため](#)、米国オレゴン州のロータリアンがニカラグアのロータリアンと手を組み、浄水フィルターを設置しました。さらに各家庭を対象に衛生トレーニングを行い、浄水を使うことの重要性や衛生習慣について説明しました。

既に完了したプロジェクトのほかに、[ideas.rotary.org](#)からは、現在進行中の活動を閲覧し、支援が必要なプロジェクトを探することができます。

・エジプトのヘリオポリス・ロータリークラブは、アルアドレー (Al Adly) 村の住民3,000人に浄水設備を提供するため、ロータリー補助金を一緒に申請する協同提唱者を探しています。

・ウガンダのカヒヒ・ロータリークラブは、ビショップ・コーンボニ (Bishop Coomboni) 大学に浄水システムを導入するため、

ロータリー補助金の協同提唱者となるクラブや地区を探しています。プロジェクトの計画や支援方法は、[こちらからご覧ください](#)。

水関連の新しい活動を始めたり、既存のプロジェクトをぜひご支援ください。以下のようなことから活動を始めてみませんか？

・行動グループと協力する：[水と衛生に関するロータリアン行動グループ \(WSRAG\)](#) に連絡を取って、進行中の水プロジェクトについて尋ねたり、プロジェクト実施のための技術ガイド（英語、スペイン語、ポルトガル語）を取り寄せることができます。5月30日（水）にはシドニーで「[Wasrag's 2014 World Water Summit](#)」を主催するほか、シドニー国際大会中はワークショップを開催して、水・衛生問題の情報交換やネットワークづくりを行う予定です。

地区研修・協議会 (DTA) District Training Assembly

多地区合同で開催することもできる地区研修・協議会は、必要な技能、知識および意欲を持ったロータリークラブの指導者を育成し、会員基盤を維持、および／または増強し、それぞれの地域社会をはじめ他の国の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施して成功させ、プログラムへの参加と資金寄付を通じてロータリー財団を支援するために、なるべく3月、4月、5月のいずれかの月に、毎年開催されるものとする。ガバナーエレクトが地区研修・協議会に対し責任を持つものとする。地区研修・協議会は、ガバナーエレクトの指示および監督の下に、計画、実施されるものとする。特別な事情があれば理事会は、ここに定める時期以外に地区研修・協議会を開催することを認可できる。地区研修・協議会に出席を要請されるのは、次期クラブ会長と次年度に重要な指導者の役割を務めるために次期会長より指名されたクラブの会員である。

地区研修・協議会の目的

(Purpose of the District Training Assembly)

地区研修・協議会の目的は以下のとおりである。就任に先立ち、次期クラブ指導者がクラブの指導者チームを築けるようにする。地区ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、地区委員会にクラブ指導者チームの意欲を喚起し、協力関係を築く機会を提供する。
(ロータリー章典 20.060.1.)

地区研修・協議会の参加者

(District Training Assembly Participants)

地区研修・協議会の参加者は、クラブ会長エレクトおよび次ロータリー年度に指導的役割を果たすよう会長エレクトから指定されたロータリークラブ会員とする。
(ロータリー章典 20.060.2.)

地区研修・協議会の構成要素

(District Training Assembly Components)

地区研修・協議会においては、研修に参加する各職務別グループのために次のような構成要素が盛り込まれるものとする。
RI テーマ
役割と責務

方針と手続
チームの選任と研修
年次計画と長期計画の策定
支援源
事例研究の演習
チーム作り演習：クラブ目標の最終決定
問題解決の演習
研修に参加する機能別グループには以下が含まれる。
クラブの管理運営
クラブ公共イメージ
会員増強
奉仕プロジェクト
ロータリー財団
幹事
会計
会長エレクト（注；会長エレクトは、PETSでの研修と重複しないよう、人前での話し方とロータリアンの意欲喚起に焦点を当てる）
(ロータリー章典 20.060.3.)

地区研修・協議会の実施時期

(District Training Assembly Time Frame)

地区研修・協議会は丸1日間に及ぶセミナーから成り、できれば4月か5月に開催されるべきである。
(ロータリー章典 20.060.4.)

地区研修・協議会の指導者

(District Training Assembly Leaders)

ガバナーエレクトは、地区研修・協議会のプログラム全般の責任者である。地区研修リーダーは、協議会の計画と実施の責任者である。職務別分野に関連する地区委員長は、それぞれの関連分科会を指導する責任がある。会長エレクトのためのセッションは、適切であれば、元ガバナーおよびガバナー補佐が起用されるべきである。
(ロータリー章典 20.060.5.)

地区研修・協議会への出席

(Attendance at District Training Assembly)

次ロータリー年度に重要な指導的役割を務めるべくクラブ会長エレクトから任命されたロータリークラブ会員は、任命を受諾する前に、地区研修・協議会への出席を約束するよう所属クラブによって義務づけられるべきである。各クラブは、地区研修・協議会に出席する会長エレクトの経費を支払うという方針を採用するものとするが、このことは指定された他の参加者の出席の重要性を低めるものではない。
(ロータリー章典 20.060.6.)

地区研修・協議会の日程

(Scheduling of District Training Assembly)

事情によって、地区大会が4月に開催される場合には、地区研修・協議会と地区大会を連続した会合として開催する可能性が考慮される。ただし、そのような日程においては、地区大会が後半に行われるものとする。このような連続した会合は、各会合に必要と定められている時間数を減らすことなく、また各会合の本質的特色に配慮して行わなければならない。
(ロータリー章典 20.060.7.)